

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月16日(木) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月16日(木)

- 16日(木) 16時現在、州内の感染者数は1万1568人(前日1万1043人)、死者数は853人(同778人)。感染が確認されたのは州内209市、死者は83市と拡大傾向が続く。入院患者数も集中治療室に1115人、一般病棟に1264人と3日連続で過去最多を更新した。
- ドリア・サンパウロ州知事は、14日(火)現在で社会的隔離の実施率が高かった州内20都市を紹介し、社会的隔離政策への協力に感謝を表明(サン・セバスチアン市の実施率66%がトップ)。
- サンパウロ州政府は、州民の外出自粛を更に促す目的で、4月20日(月)を休日にする^{と発表}。医療、治安、ロジスティックス等必要不可欠なサービスの従事者は対象外。サンパウロ市も同様の措置を発表。
- サンパウロ州政府は算数やポルトガル語の補習ドリル、「Turma da Mônica」のマンガ本、補助読本、保護者向けのマニュアル等を詰めた学習セットを配布すると発表。州政府のイニシアチブで行われているオンライン授業を補完するもので、予算は1950万リアル。27日(月)から350万セットを配布予定。
- サンパウロ州政府は、4月末に開院を予定していたカンピーナス市の特定疾病専門医院(AME)を13日(月)に開院したと発表。地域の新型コロナウイルス感染患者の対応強化が目的。病院機能を持たせた州内初のAMEとして、既に15の一般病床が稼働、17日(金)には集中治療病床が10以上稼働する予定。
- サンパウロ市は外出時のマスク着用を推奨する条例公布。医療用マスクではなく自家製マスクの使用を推奨。
- サンパウロ市は市民への情報提供や現状把握を目的に、市内の公立・私立病院に対し、集中治療室の利用状況を毎日メールで報告するよう義務付けると発表。アパレシード市保健局長によると、市内病院の病床占有率は平均65%で、市内では特に東部地区の病床が満床になりつつある。
- 16日(木) 15時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は計118人(前日136人)。うち、パカエンブー競技場内の仮設病院では64人、アニエンビー国際展示場内の仮設病院では54人がそれぞれ入院。1800床体制を想定しているアニエンビーの同病院では同日、新たに561床増えて計887床となった。
- サンパウロ市は新型コロナウイルス犠牲者の葬儀・埋葬プロセスを迅速化すべく、特別委員会を設置と発表。

2 マット・グロッソ州

4月16日(木)

- 16日(木) 17時現在、州内の感染者数は156人(前日151人)、うち州都クイアバ市が83人。入院患者数は7人。死者は5人目が確認された。州都クイアバ市内で初の死者となった。
- 同州政府は、新型コロナウイルス対策に計4630万リアルを投じたと発表。うち、2100万リアルを連邦政府より、残り2530万リアルを同州政府が拠出。主に病床の増設や医療機材の調達等に活用。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月14日(火)～16日(木)

- 16日(木) 正午現在、州内の感染者数は131人(前日121人)、うち州都カンポ・グランデ市が68人。入院患者数は19人。死者は15日(水)夜に5人目(81歳女性、高血圧と糖尿病を患っていた)が確認された。トレス・ラゴア市内で初の死者となった。
- 15日(水)、同州政府は保健省と連携し、州内各地で病床の増設に取り組んでいると発表。新たに324の一般病床を州内5市に、181の集中治療病床を州内12市の病院に設置する予定。
- 15日(水)、同州政府はユーカリ由来のバイオ製品の生産で知られるブラジル大手企業スザノ社より、人工呼吸器15台とN95マスク8万枚の寄付を受けると発表。州内各地の病院で活用予定。
- 14日(火)、カンポ・グランデ市は経費削減のため市長、副市長等の給与を30%減にすると発表。(了)